

平成25年度 妙高市道徳部 活動報告

部長 池田 良夫

1 研究主題

魅力的な資料で道徳的価値を実感させる道徳授業の工夫

2 研究概要

(1) 研究主題に基づいた授業研究

○ 妙高中学校3年 道徳公開授業・協議会(11月7日)

・主題名:「生き方を求める」 内容項目1ー(4)

・資料名:「風に立つライオン」(「私たちの新しい生き方」3 新潟県中学校長編 新学社)

(2) 研究主題に関連した理論研修

○ 講話による研修

・演題:「魅力的な資料で道徳的価値を実感させる道徳授業の工夫」

・講師:上越教育大学大学院学校教育研究科 教授 早川 裕隆

3 研究の実際

(1) 授業研究で検証したポイント

① 心情を耕す魅力的な資料の提示について

授業では、さだまさし作詞・作曲の「風に立つライオン」という歌の資料を使った。この資料は、感動や共感、叙情的な味わいなどが得られる手紙形式の資料である。授業では、実際に曲を流したりアフリカの自然の写真を提示したりすることで、自分の生き方に葛藤しながらも現地の自然や人々に心が洗われていく様子をイメージさせ、主人公の生き方を考えさせることができた。

② 道徳的価値を自分の生活に引き寄せて実感させる工夫について

導入では、資料と似たような場面について二者択一の選択をさせ、なぜその選択をしたのかを考えさせることによって自分の問題として捉えさせることができた。展開では、まず、最初に主人公の青年について簡単に紹介し、その後、映像を視聴することで本資料への興味関心や追究意欲を高める工夫した。そして、資料をもとに、主人公の心の移り変わりを追っていき、中心発問へとつなげていった。終末では、導入とつなげて、自分に戻り、今後の自分の生き方についてじっくり考えさせることで、「自分ごと」としてとらえさせることができた。

(2) 研究主題に基づいた理論研修

理論研修をとおして、押さえない道徳授業展開上の要件について次のように学んだ。

① 「魅力的な道徳資料」として具備すべき要件について

ア 感性に訴え、感動を覚えるようなもの イ人間の弱さやもろさに向き合い、生きる喜びや勇気を与えられるもの エ悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題について深く考えることができるもの等

② 道徳的価値を自覚させる要件について

ア 道徳的価値についての理解 イ自分とのかかわりで道徳的価値がとらえられること

エ 道徳的価値を自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われていること

4 成果と課題

心情を揺さぶる魅力的な資料の選択と道徳的価値を自己とのかかわりにおいてとらえさせることは、道徳授業充実の要である。本年度はこの二つの観点について全部員が授業研究を通して具体的に深めることができた。吟味した歌詞と美しい音の調べをもった歌は、道徳資料として有効に活用できることが検証された。一方、道徳的価値を「自分ごと」としてとらえさせるためには、導入と終末でいかに児童・生徒の生活に引き寄せて考えさせることができるかが課題である。